

令和7年度第2回秋田県立近代美術館協議会（要旨）

日 時：令和7年12月5日（金）13:30～15:00

会 場：秋田県立近代美術館 研修室（6F）

出席者：	会 長	打 川	敦	横手市観光推進機構理事長
	副会長	岩 野	玲 子	横手市立横手南小学校長
	委 員	阿 部	順 一	日本放送協会秋田放送局長
	〃	黒 木	健	東北芸術工科大学非常勤講師
	〃	佐々木	美 香	SCENT OF BEAUTY
	〃	佐 藤	直 志	横手市教育委員会生涯学習課長
	〃	三 戸	忠 洋	株式会社秋田魁新報社文化部長
	〃	鈴 木	竜 典	R-r o o m鈴木竜典写真室代表
事務局	糸 田	和 樹	秋田県教育庁生涯学習課学芸主事(兼)社会教育主事	
〃	佐 藤	隆 道	〃	
〃	仲 町	啓 子	秋田県立近代美術館	特任館長
〃	土 門	高 士	〃	副館長
〃	高 久	豊	〃	総務チーム副主任(兼)チームリーダー
〃	照 井	裕 奈	〃	〃 主任
〃	須 田	愛 美	〃	〃 主事
〃	木 村	雅 洋	〃	学芸チーム主任学芸主事(兼)チームリーダー
〃	秋 田	達 也	〃	〃 副主任(兼)学芸主事
〃	保 泉	充	〃	〃 主査(兼)学芸主事
〃	藤 井	正 輝	〃	〃 学芸主事
〃	北 島	珠 水	〃	〃 〃
〃	奈 良	香 京	〃	〃 〃
〃	鈴 木		〃	〃 主査(兼)学芸主事

<次第>

1. 開会
2. 特任館長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 協議
 - (1) 令和7年度事業概況及び令和8年度事業概要について
 - (2) 特別展・コレクション展アンケート集計結果について
 - (3) 令和7年度あきた Museum 機能強化事業「Museum 特別展充実事業」の外部評価について
5. その他
6. 閉会

<協議概要>

●展示等について

- ・ 美術館が「学術的な場」から「人とつながる場」へ変化していることを実感した。
- ・ 「かがくいひろしの世界展」は特別支援教育や福祉の観点からも素晴らしい内容だった。また、美術に馴染みの薄かった層への広がりを感じた。
- ・ 「まるごと〇展」では、勝平得之とひ孫（伊藤由美子氏）のつながりを示す展示が良かった。今後こうした「縁」や「物語性」のある展示を期待する。
- ・ 各展覧会が目標来場者数を達成しており、県外客の誘致に成果を上げている。

●広報・情報発信の課題と提案

- ・ アンケート結果から、依然としてチラシ・テレビ等の既存メディアの影響が強いが、SNS等のデジタル発信には、まだ伸び代がある。

→XやFacebookに加え、大学生と連携したInstagramの活用などを試みているが、継続的かつ魅力的な発信に課題がある。各関係先とのアカウント上の交流など、情報公開のための連携も検討したい。

- ・ 「キンビ写真コレクション展」で紹介されている中村征夫氏は、ダイバー界で世界的に活躍されている方である。そうでありながら、彼が秋田出身であることが意外と知られていない。ダイビング愛好者など、従来の美術ファンとは異なる層への広報もできるのではないか。
- ・ 職員の業務多忙を考慮し、生成A I（NotebookLM等）の活用を進めてはどうか。

→県庁でも研修が行われており、業務効率化に向け、アイデア出しや壁打ち相手としての活用を進めたい。

- ・ SNSだけでなく、プッシュ型の情報発信（メールマガジン等）を導入してはいかがか。協議会委員の任期終了後も美術館との繋がりを維持するシステムがあれば、人的ネットワークが資産になる。
- ・ 横手市の事例で、TikTokが120万アクセスを記録したように、若年層への拡散には動画メディアが極めて有効な手段となる。

●アクセス・誘導について

- ・ 県外からの来場者と同行した際、ふるさと村到着後に「美術館がどこか分からない」「展示室が見つからない」という理由で、1階の彫刻だけを見て帰ってしまいそうになった事例があった。公共交通機関利用者にとって、バス停やふるさと村入口から美術館までの動線が分かりにくい。
- ・ ふるさと村の正面エントランスから美術館までの距離が長いため、病院の誘導ライン（床の線）のような分かりやすい案内や、中間地点での掲示があると良い。

→ふるさと村バス停や駐車場からの動線も含め、看板の視認性や誘導方法に課題があることを認識しており、検討したい

●その他

- ・ ミュージウムコンサートについて、多方面から芸術にふれ合える良い取り組みだと思う。プロやピアノ使用にこだわらなければ、県内の吹奏楽部や市民団体に協力してもらう方法がある。開催頻度を増やせる上に、「家族が見に来る」という新たな集客層の開拓に繋がる。
- ・ 令和8年度に全国高等学校総合文化祭が近代美術館を会場に開催されるが、どのくらいの規模となる予定か。

→館内の展示室すべてや共有スペースを使用し、近隣施設も控室に充てる大規模な開催となる。全国から多くの生徒・保護者らが来場する見込みである。

- ・ 近隣での熊の出没状況や安全対策はどうなっているか。

→10月下旬に近隣で目撃情報があつたが、現在は落ち着いている。ふるさと村と密に連携し、巡回等で安全確保に努めている。